

令和6年度 指定管理者運営評価シート

所管課 産業文化総務課(食肉センター担当)

1. 公の施設

公の施設の名称	西宮市食肉センター、西宮市食肉地方卸売市場
所在地	西宮市西宮浜2丁目32-1
施設概要	竣工 昭和63年3月 敷地面積 9,548.24㎡ 建物面積 6,361.22㎡ 鉄筋コンクリート造3階建て
施設の設置目的	施設利用者が安全な食肉を市場に提供することにより、阪神間の食肉流通の拠点として、西宮市内の食肉流通産業振興に寄与し、地域住民の豊かな食生活に貢献する。

2. 指定管理者

指定管理者	団体名	株式会社 キャンフォア	指定期間	開始日	令和 元 年 4 月 1 日
	所在地	西宮市津田町3-14		終了日	令和 6 年 3 月 31 日
選定方法		非公募	評価対象年	指定期間 5 年のうち 5 年目	

3. 指定管理者の業務履行状況

①施設の維持・管理関係	<ul style="list-style-type: none"> 施設運転管理業務 (と畜機械及びその他の機器・設備の日常の保守管理・修繕、運転管理業務) 汚水処理施設運転管理業務 (下水道法及び西宮市下水道法条例の規定に基づく運転管理業務) 宿日直業務 (夜間・休日の施設の管理) 清掃業務 機械等維持管理業務 その他維持管理業務
②施設の事業・運営関係	<ul style="list-style-type: none"> センター等の使用許可申請及び入場許可証の受付 と畜処理、上場実績の集計 と畜証明書及びへい死証明書の発行 使用許可、使用料の徴収 <p>労働実態調査の結果：関係法令に基づき、適正に管理運営されていることを確認した。</p> <p>調査結果後の指示事項：特になし</p>
③指定管理者の提案による取組と今後の改善点など	<p>当初及び指定期間中の提案：と畜解体処理直後の枝肉表面に稀に付着物があり、衛生的に問題がある。懸架レール等から錆や塗膜片等が落下して付着したものと推測される。懸架レール等からの錆等の落下について、錆止め等の塗装するなど検討することについて要望があった。</p> <p>取組結果：懸架レール等の錆止めについて塗装業者に相談したところ、塗装することで今以上に塗膜片が落ちると指摘。今回は錆止塗装の実施は行わず、懸架レール等の洗浄を実施することにした。また、高所作業になる為、専門業者に委託し洗浄を実施した。</p> <p>今後の改善点：洗浄後、懸架レール等に振動を加えて錆等が落下してこないか試したところ、洗浄前と比べて、錆等の落下が減少した。また、他のと畜場についてもレール洗浄は定期的に委託しているとの情報もあり、今後、当施設でも利用者と相談しつつ、定期的にレール洗浄を実施していくことにした。</p>

施設利用状況(量)を示す指標名		単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(計画)
①	大動物処理頭数	頭	7,856	6,672	6,628	6,735	6,600
②	小動物処理頭数	頭	36,118	37,465	32,841	29,257	30,000
③	と畜解体実施日数	日	253	248	247	245	250
④	稼働率	%	60.6	60.6	57.4	53.6	100.0
⑤							

4. 利用者アンケート等の結果

①利用者アンケート等の実施日・手法	実施時期：令和5年12月1日 手法：指定管理者が日常的にかかわっている施設の利用者に対して、聞き取り調査を実施
②利用者アンケート等の結果	生体（牛・豚）の搬入後に、搬入車両を洗車場で洗浄・消毒を行うが、その場所の照明がうす暗く、洗浄作業時に細部が見づらいため、照明を明るくするよう改善を求められた。
③結果からの改善点など	既存の照明は設置台数が少ないうえに照度が低く、また、照射角も狭いので車両を十分に照らしていない。それらの理由から、設置場所や台数、照度の高い機器や照射角の広い機器など照明機器を選定し、新たに照明を更新することで車両の洗浄作業の作業性の向上の改善を図る。

5. 指定管理者の安定性や継続性の評価

①評価結果	収支決算書及びその他の報告関係書類を確認したところ、経営分析において全体的に下降しており、経済状況を注視する必要があるが、流動性等は適切な範囲にあるので、今後もこの経営状況を維持するとともに、収益性の改善を図ることが望ましい。 日常的に経費の削減に努めており、安定性の強化が図られていることが認められた。
②評価結果を受けての指示事項	特になし

6. 指定管理料及びその内訳(指定管理者の収入)

(単位：千円)

区分	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(年度協定額)
指定管理料	222,324	223,258	232,878	219,050	238,804
うち光熱水費	(84,805)	(86,542)	(102,612)	(88,152)	(102,010)
うち修繕料	(10,236)	(10,355)	(11,015)	(10,736)	(12,733)
うち消耗品費	(12,116)	(11,846)	(11,076)	(10,503)	(11,306)
補足説明	「うち数」の合計は、指定管理料と同じにはならない。光熱水費に灯油代は含まない。				

7. 使用料等の収納状況(市の収入)

(単位：千円)

区分	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(予算)
使用料	109,680	104,571	98,162	93,930	94,012
光熱水費使用者負担金収入	11,160	11,803	12,355	12,498	10,130
その他の収入	94	101	100	93	93
合計	120,934	116,475	110,617	106,521	104,235
補足説明	「その他の収入」には、行政財産目的外使用料及び自動販売機取扱手数料を記入している。 千円未満は、四捨五入しているため、合計額が合わないときがある。				

8. 市による指定管理者の評価

①モニタリングの結果と総合評価	指定管理者とのヒアリングを月1回程度実施しており、さらに指定管理者から令和5年度事業報告書の提出を受けて、令和6年6月26日に1年間の総括となるモニタリングを実施した。 施設の維持・管理について、市への各報告書の提出、使用料の徴収及び納付、設備・機器の修繕において、適正な対応が行われていた。 決算報告書において、経常利益に欠損が見受けられたが、委託業務に係る経費が一時的に上昇したことによるもので、単年度で解決できる内容であった。 以上のことから、経営状況分析においては全体的に下降したものの、次年度には十分な対応ができ、それ以外については指定管理業務の実施状況はおおむね適正であった。
②指摘事項	特になし